

令和元年度
まちづくり円卓会議報告書

西東京市市民協働推進センター

目 次

1. まちづくり円卓会議 要約	1
2. 平成元年度まちづくり円卓会議	1
3. ひきこもり～ふみだすきっかけ～	2
開催状況	
円卓会議メンバー	
議論の記録	
成果と課題	
アンケート	
4. 「再出発ができる社会へ…少年・少女との伴走を考える」	3
開催状況	
円卓会議メンバー	
議論の記録	
成果と課題	
アンケート	
5. その他	5

1. まちづくり円卓会議 要 約

「まちづくり円卓会議」は、平成 24 年度の新規事業として地域連携促進事業の中で開始、以降重点事業として継続実施してきました。

平成 24 年度から平成 25 年度にかけて、テーマを「障がいのある人もない人も分けない居場所づくり」として開催し、農福連携の居場所づくりの活動を実施したり、会議メンバーを中心に、自主的に活動するグループ（ノーマライゼーション西東京の会）の誕生にも繋がりました。

平成 26 年度、平成 27 年度には、2 つ目のテーマとして「子どもの声に向き合うために～今私たちにできること～」を取り上げ、会議メンバーが関わっている「放課後@カフェ」を後押しし、会議メンバーを中心とした自主的に活動するグループ形成（西東京子ども放課後カフェ）に繋がり、市内中学校内での放課後カフェは 7 か所まで増えました。

平成 28 年度には、公民館の社会教育とゆめこらぼの市民活動支援を連携し、相互に循環・協働する動きにつなげる試みとして、初めて公民館の連続講座と連携・共催で「まちづくり円卓会議」を開催しました。柳沢公民館の「いきいき超高齢社会チャレンジ講座」全 7 回の講座の 6 回目にまちづくり円卓会議 1 回目を行いました。2 回目のまちづくり円卓会議では「70 歳からの地域デビューについて考える」とテーマを絞り、より具体的な提案をもとに話し合いを実施し、具体的な方向性について会議メンバーだけでなく参観者とともに合意することができました。

平成 29 年度は、前年度から継続し、70 歳代からの地域デビューをテーマに、柳沢公民館と連携・共催でまちづくり円卓会議を実施しました。会場の参観者との意見交換や地域デビューに関するアンケートなど多様な意見を反映した話し合いを進めることができました。そして、まちづくり円卓会議での話し合いを公民館講座に繋げ、新たな地域活動の担い手として繋がる方向性の試みをスタートさせることができました。

平成 30 年度のまちづくり円卓会議は、「空き家」と「ひきこもり」をテーマに会議を 1 回ずつ開催しました。テーマに関わる当事者から話を聞き、多様な視点から事実に向き合い、参観者で共有することができました。

2. 令和元年度のまちづくり円卓会議

今年度のまちづくり円卓会議は、「ひきこもり～ふみだすきっかけ～」と「再出発ができる社会へ・・・少年・少女との伴走を考える」を話し合いのテーマとしました。円卓会議メンバーは、それぞれのテーマについて、具体的に地域で関わり、向きあっている方たちです。テーマに関心のある方が誰でも参加できる開かれた会議の場で、まずは円卓会議メンバーから現状について話を聞き、多様な視点からみえる事実を知り、皆で共有することから話し合いをすすめていきました。

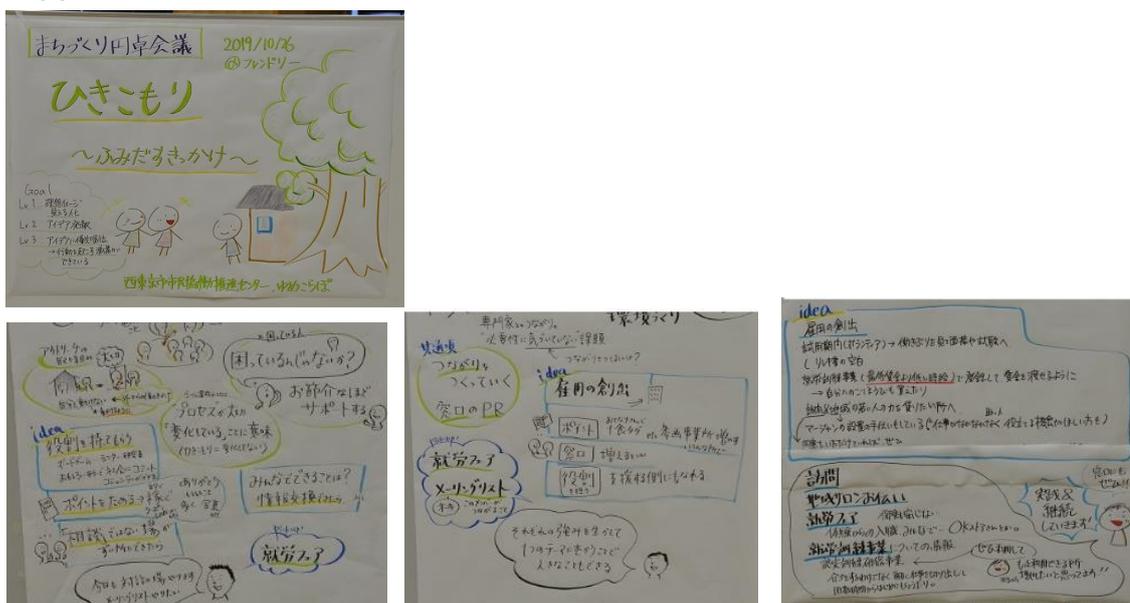
それぞれ違う立場や環境にいる円卓会議メンバーから、様々な事例や情報が提供され、課題はより明確になりました。ファシリテーターは、その場の状況を鑑みて、地域の社会課題を解きほぐし、参観者の意識を「他人ごと」から「自分ごと」に変えていく対話を進めていきました。話し合いの流れは、板書を行い、見える化しました。

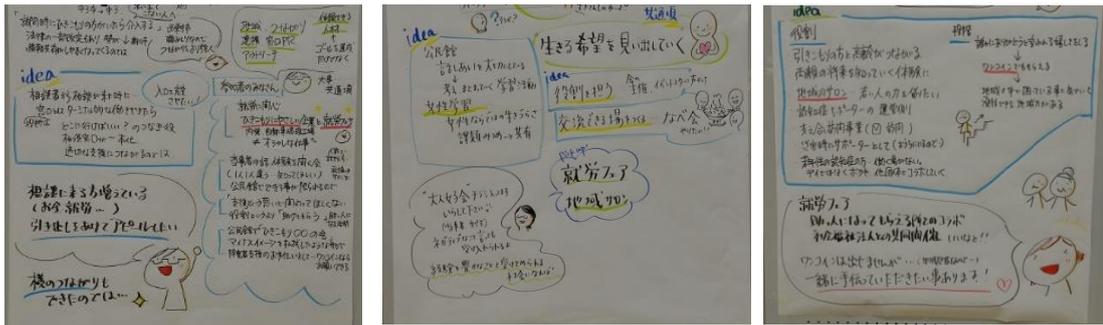
3. まちづくり円卓会議「ひきこもり～ふみだすきっかけ～」

開催状況

- (1)日時：令和元年 10 月 26 日(土) 13:30～16:30
- (2)場所：障害者総合支援センター フレンドリー 3階 多目的室
- (3)参加者：ファシリテーター 米元洋次 (合同会社 Active Learners)
板書 高橋洋子 松本望美 (合同会社 Active Learners)
会議メンバー 6人 (以下のとおり)
参観者 22人
- (4)会議メンバー：伊田 昌行 (西東京市健康福祉部生活福祉課 課長)、片桐 優子 (西東京市保谷駅前公民館 公民館専門員)、鈴木 剛 (オンリーワンクルー 代表)、斎藤守克 (中高年事業団やまて企業組合 西東京市生活困窮者就労準備支援事業 就労準備支援員)、中村眞弓 (西原町地域包括支援センター センター長)、馬淵 将成 (~お散歩&日常デイ~おとなりさん。 取締役)
- (5)概要：「ひきこもり～ふみだすきっかけ」をテーマに、当事者や関係者と関わりのある立場の違う6人が円卓会議メンバーとして対話を行いました。最初に、それぞれがどのような「理想」・「目的」・「想い」・「夢」をもって取り組んでいるのかを話し、理想のイメージを見える化しました。そして、今回の会議メンバーに共通する理想を実現するためのアイデア出しを行いました。協働で実現可能な「ふみだすきっかけ」のアイデアやそのアイデアが次の行動を起こすための準備となる話し合いをスキルの高いファシリテーターが進行していきました。参加した会議メンバーや参観者の中にはそれぞれ今後につながる気づきが生まれる話し合いでした。

板書





成果と課題

- ・ひきこもり当事者や関係者とかかわりのある会議メンバー6人が、どのような目的で活動しているか共有することができ、違いも理解し合うことができました。
- ・それぞれの事業や活動の意義や役割を確認することができ、充実して継続していく意識に繋がりました。
- ・このメンバー同士が繋がる一歩となりました。
- ・円卓会議メンバーの連携・協働で出来そうなアイディアは豊かに出され、参観者からの共感も得られました。
- ・当事者や家族や関係者の入口となる相談窓口の充実化は課題として明確になりました。

アンケート

(回収 17人 自由記述 抜粋)

- ・今回の円卓会議により、何か動きが起きそうな気がします。
- ・なかなか良かった。
- ・ひきこもりの人の心模様を語ってくれる講演会など開いてほしい。
- ・就労（ボランティアを含む）フェアの開催は希望します。
- ・ゲーム会もできると良いのでは？
- ・司会、板書とてもよかった。
- ・貴重な意見が聞けた。

4. まちづくり円卓会議「再出発ができる社会へ・・・少年・少女との伴走を考える」

開催状況

- (1)日時：令和元年11月30日（土）13:30～16:30
- (2)場所：障害者総合支援センター フレンドリー 3階 多目的室
- (3)参加者：ファシリテーター 山内凜太郎 米元洋次（合同会社 Active Learners）
板書 松本望美 脇岡優美子（合同会社 Active Learners）
会議メンバー6人（以下のとおり）

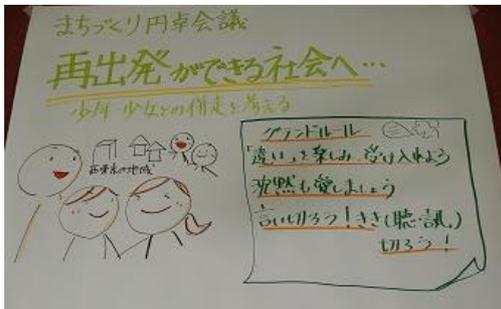
参観者 15人

(4)会議メンバー：青木美佐子（西東京市社会福祉協議会）、太田元（東村山市立東村山第三中学校、東村山市立東村山第三中学校菖山分校 統括校長）、嶋田文子（保護司）、西原みどり（西東京市主任児童委員、保護司）、原 治（西東京市社会福祉士会事務局長）、馬淵 将成（～お散歩&日常デイ～おとなりさん。取締役）

(5)概要：「再出発ができる社会へ・・・少年・少女との伴走を考える～」をテーマに、会議メンバーも参観者も少年・少女の生きづらさに関する現状とそれを支える様々な活動について知り、色々な視点を学び、どのような伴走ができるか話し合いを行いました。会議メンバーと参観者が知り合う時間を経て、会議メンバーがどのような取り組みを行い、そこから見える課題を共有しました。そして、この場にいる人とどのようなことができるのか話し合いを深めました。話し合いの振り返りでは、それぞれの気付きや学びに繋がったことなどを共有しました。会議はスキルの高いファシリテーターの進行により、ぬくもりのある話し合いの場がつけられ、その内容は板書で見える化を行いました。

議論の記録

板 書



成果と課題

- ・「生きづらさをかかえた少年・少女」をテーマに取り上げることができ、少年少女のいきづらさに関する現状とそれを支える様々な活動について知ることができました。
- ・円卓会議メンバーも参観者も色々な視点を学び、テーマについて対話を深めることができました。
- ・円卓会議メンバーそれぞれの立場から見えている情報を共有し、それぞれ出来る事に違いがあることを確認できました。
- ・円卓会議メンバーも参観者も「自分事」として考え、どのような伴走ができるか、その可能性の気づきに繋がりました。
- ・円卓会議メンバーの連携・協働に繋がる一歩となりましたが、方向性は明確にできませんでした。

アンケート

(回収 11 人 自由記述 抜粋)

- ・子どもにとっても、そしてまわりの大人にとっても「人（社会）とのつながり」というのが根本的に大事だと実感しました。
- ・多様な大人と接することの大切さという言葉聞いて、私の小さな力でも誰かのために活かせるのではないかとワクワクしました。
- ・連携が必要
- ・自分の知っていることは相手は知らないを前提に話す必要性
- ・皆様のガンバリに共鳴しました。もっと広報に力を強めてください。
- ・とてもすばらしい時間でした。

5. その他 (チラシ)

2019年
まちづくり円卓会議
参観者 募集
ひきこもり
～ふみだすきっかけ～

様々な立場の関係者が集まり多様な視点から「ひきこもり」について現状や課題に思っていることを報告します。この場にいるひとりひとり、それぞれの一歩が踏み出せるきっかけになるために・・・

会場の参観者も一緒に、課題を解きほぐし、理解を深めながら話し合いを進めます。観て参加するまちづくり円卓会議。今回のテーマは障害者に引き続き「ひきこもり」。関心のある方の参加をお待ちしています。話し合いの様子を見守るだけの参加も可能です。

日時：10月26日(土)
13:30～16:30
場所：障害者総合支援センター「フレンドリー」3階 多目的室

申込先
西東京市民協働推進センター ゆめくらぼ「まちづくり円卓会議」係
TEL: 042-497-6950 FAX: 042-497-6951
Eメール: yumeck@labo@nc.iglobe.ne.jp
参観ご希望の方は、電話・FAX・Eメールにて、
①お名前(ふりがな) ②所属 ③連絡先(電話・FAX・メールアドレス)を
明記の上、上記までお知らせください。

2019年度 まちづくり円卓会議
再出発ができる社会へ・・・
少年・少女との伴走を考える

11月30日(土)
13時半～16時半
障害者総合支援センター
フレンドリー 多目的室

様々な立場からのサポートを知り
手をたずさえ、
できることを考えてみたいと思います。
私の立場でできることもあるはず。
話し合いの様子を見守るだけの参加も
お待ちしております。

申し込み先
対象：テーマに関する市内在住の市民の方
人数：30人(先着順)
申込：11月28日(木)までに電話・FAX・Eメールで
下記にお申し込みください。
西東京市民協働推進センター ゆめくらぼ
電話：042-497-6950 FAX: 042-497-6951
Eメール: yumeck@labo@nc.iglobe.ne.jp